

- 2-3 厚木から羽ばたく熱気人 あつぎびと
- 4-5 新春対談 かな
好きを突き詰め叶えた夢
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ



書き初めをHPで紹介

皆さんの思いを込めた書き初め作品を市のホームページに掲載します。

募集内容 今年の目標や新年にちなんだ言葉
掲載場所 市HPトップページ
掲載期間 1月18～31日



☑️アプリ「Instagram」でハッシュタグ「#niceatsugi」を付け、1月13日までに写真を投稿。写真は書き初めの作品のみを撮影したもの。
 ※全作品を掲載できない場合があります。



市公式Instagram

☎️広報課 ☎️225-2040

「つぎぎ」「こま」「希望の年」。子どもたちが手にする半紙には、新年にちなんだ文字が伸び伸びと書かれています。年が明け、初めて文字を書く「書き初め」は、平安時代から続く正月の風物詩。それぞれが新年にちなんだ言葉や願いなどを、一字一字思いを込めて筆を走らせます。

大変なニュースが多かった2022年。一方で鮎まつりや大道芸が再開し、希望の光が差した1年でもありました。今年は、どんな年になるでしょうか。希望と、たくさん笑顔があふれる1年になりますように。

新たな一年に
思いを込めて



野球選手
TAKESHITA AKIHIRO
竹下 瑛広 (22・山梨出身)

気持ちの強さをプロの世界でも

小学3年生の頃にソフトボールを始め竹下さん。中学で野球部に入り、練習に打ち込んだ。上達してできることが増えるのが楽しく、夢中で白球を追った。高校は、地元厚木北高校に入。1年生の秋に、監督の勧めで野手から投手に転向した。始めた頃は、球速は遅く、制球も定まらなかった。他の選手に遅れを感じていた竹下さんは、全体練習に加えて自宅でも投球フォームの確認や体幹トレーニングなどを重ねた。それでも、チームで一番の投手にはなれなかった。夏の予選大会後、進学先を悩む竹下さんに監督は「焦

プロフィール

2000年生まれ。北小・藤塚中学校出身。厚木北高校卒業後、函館大学に進学。長身から投げ下ろす投球スタイルで最速148km/hの速球を投げ込む投手。22年に育成ドラフト3位で東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。厚木北高校初のプロ野球選手。

10月20日、函館大学。野球部は、固唾をのんでその瞬間を待っていた。「プロになれば良かったら野球を辞めたい」。強い覚悟で望んだ、2022年プロ野球ドラフト会議。「東北楽天ゴールデンイーグルス、竹下瑛広」。テレビから自分の名前が聞こえた瞬間、椅子から自然と飛び上がった。竹下さんは11月、育成選手としてプロの球団に入団した。



指名後に仲間から祝福を受ける竹下さん(中)

らずにゆっくり力をつけ、地方の花を咲かせたらどうだ」と言葉をかけてくれた。エースになれなかった悔しさと成長する自分への期待を胸に、函館大学への進学を決めた。高校時代はただがむしゃらに練習をこなしてきた竹下さんだったが、大学投手コーチの指導を受け意識が変わった。球速を上げるにはどんな練習方法が効果的なのか、自分の課題は何かなど、一つ一つ考えて取り組むようになった。2年生の時、けがで野球ができない時期があったが、竹下さんの中にあったのは「活躍している仲間を負けたくない」という気持ちだった。努力が実を結び、3年生になると高校時代128km/hだった球速は最速148km/hに。これまでにない手応えを感じた竹下さんは「もしかしたらプロに行けるかもしれない」と夢の舞台を意識し始めた。「名前が呼ばれるかドキドキだった」とドラフト会議当日を振り返る竹下さん。指名に、チームメイトからは手厚い祝福を受け、両親は涙を流して喜んでくれた。「緊張する試合展開やピッチの場面ほど気合いが入る。これからの勝負が楽しみ」と力を込める竹下さん。前向きで強い気持ちを武器に、プロの世界へと立ち向かっていく。

厚木から羽ばたく

熱気人

ATSUGIBITO

この地で生まれ育ち、夢に向かってひたむきに努力を重ねる「熱気人」たち。個性や特長を生かし、自分の信じた道を明るい未来へと歩み続ける。

広報課 ☎225-2040

映画監督

MATSUMOTO TAKAKO

松本 貴子

(62・恩名)

世界的な芸術家に縄文遺跡の発掘調査員、スーパーモデル、農家のおばあちゃん。松本さんが手掛けた映像作品の題材は、一見、共通点がないように見える。「全部、自分がこの人だ!」と思った人たち。興味がないとどうも形にできない」と苦笑する。市内で生まれ育った松本さんは小学生の頃、登下校の途中で田んぼのカエルの卵を観察したり、林でへびを捕まえたりと、自然で遊ぶのが大好きだった。体を動かすのが得意で中学・高校は運動部に入ったが、あまり熱中できないまま卒業。映像に興味を持ったのは大学生の時、

すてきな人への興味を追究したい



何となく入った映画研究会がきっかけだった。それまで自分の考えを形にしたことがなかった松本さん。シナリオを書くことで自分の興味や考えが分かること、共鳴して誰かが一緒にものづくりをしてくれること、それらが形になっていく面白さに夢中になった。卒業後は、映像制作会社に入社した。「厚木から1週間分の着替えを持って、都内の会社で寝泊まりする生活。きついですごく楽しかった」と振り返る。テレビ番組のディレクターとして最初に担当したファッション番組では、最先端のおしゃれの紹介よりもデザインナーに焦点を当てた企画が面白



「体力的にはきつい仕事だけど、水が合う」と話す

く「自分は人に興味があったのか」と気付いた。世界的な芸術家・草間彌生さんに出会ったのは、番組で芸術家を取り上げた1995年のことだった。当時は、海外では評価されていたものの、日本での知名度は今ほどではなかった。「初めて会った瞬間、『この人、すてき!面白い!』と興味を湧かした」。草間さんが描いた富士



2015年「草間彌生 わたしの富士山〜浮世絵版画への挑戦〜」(NHK BSプレミアム)ロケ後。取材では「集中できない」と何度も出入り禁止になったが、チャンスをつかみ続けた。「常に上を目指し続ける本物の天才」とほれ込む

久保寺 真仁

(22・毛利台出身)

物作りを始めるきっかけに



「ロボット作りは10歳の時。プロトタイプ玩具での物作りに没頭し、次第にモーターなどを取り付けて動かすようになっていった。「頭の中のイメージを形にするのが楽しくて、作っては壊しを繰り返していった」と振り返る。小学5年から高校生までは自作ロボットの世界大会で好成績を残し「より人間に近い物を作りたい」と今の大学に進んだ。これまで、製作をほとんど一人で手掛けてきた久保寺さん。



世界大会の決勝で対戦したフランスチームと

頭

部を組み込まれたカメラがサッカーボールを認識し、自動でゴール目掛けて蹴り進んでいく。接触して倒れても起き上がり、まるで人間のようになりながら、4体のロボット同士が勝敗を競う「ヒューマノイドサッカー」。昨年7月、タイで開かれた世界大会で、千葉工業大学のチームが優勝を果たした。ロボット本体の設計を担当した久保寺さんは「小学校の卒業文集に書いた夢が、やっとかないました」と、はにかんだ。久保寺さんがロボット作りに出合ったのは10歳の時。プロトタイプ玩具での物作りに没頭し、次第にモーターなどを取り付けて動かすようになっていった。「頭の中のイメージを形にするのが楽しくて、作っては壊しを繰り返していった」と振り返る。小学5年から高校生までは自作ロボットの世界大会で好成績を残し「より人間に近い物を作りたい」と今の大学に進んだ。これまで、製作をほとんど一人で手掛けてきた久保寺さん。大学に入り、知識や技術が異なるメンバー同士の意思疎通や開発の資金繰りなど、戸惑うことも多かった。しかし、日を重ねるごとに、自分の苦手な分野やできないことを支えてくれる仲間がたまたま感じられるようになっていった。コロナ禍で3年ぶりに開催された昨年の世界大会。ロボット本体を作るリーダーを務めた久保寺さんは、

プロフィール

2000年生まれ。毛利台小・小・中・高で優勝したときに、口ポカ表彰に自分自身が関係する。多岐にわたる活動で、口ポカ表彰に自分自身が関係する。多岐にわたる活動で、口ポカ表彰に自分自身が関係する。





新春対談

好きを突き詰め

かな 叶えた夢

時には冷静に、時には情熱的に、分かりやすく正確に情報を伝える伝道師。厚木で生まれ育ち、学生時代に描いた夢をかなえた日本テレビアナウンサーの梅澤廉さんを迎え、今までの歩みと未来に込める思いを聞きました。

厚木市長 小林常良

日本テレビアナウンサー 梅澤廉

古民家岸邸
《開館時間》10~3月 10~15時
4~9月 10~17時
《定休日》月・火曜
※祝日の場合は翌日
あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

市長 明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の対策は依然として欠かせませんが、イベントが再開されるなどまことに喜びが戻りつつあります。今回は、ニュース番組やスポーツ中継などで活躍する、厚木市出身の梅澤廉アナウンサーに話を伺います。

厚木の思い出

市長 対談の舞台として、上荻野にある古民家岸邸を選びました。来たことはありませんか。
梅澤 20歳まで市内に住んでいましたが、初めて来ました。
市長 ここは1891年に建てられた、荻野村で村長を務めていた方のお宅です。
梅澤 当時のまま残っているんですね。厚木の歴史を感じます。
市長 現在は市指定有形文化財になっていて、一般公開しています。梅澤さんにとって厚木はどんなまちですか。
梅澤 いつでも帰って来たいと思うまちです。定期的に来ていますが、景色が少しずつ変わっていきまね。本厚木駅の南口も新しくなっていました。
市長 これから、北口も再開発される予定です。
梅澤 さらに進化して、きれいになるんですね。都市と自然を感じられるのも魅力の一つです。子どもの頃は、家族でよく七沢に行っていました。
市長 厚木の一番の思い出は何ですか。
梅澤 鮎まつりです。父に手を引かれて行ったのをよく覚えていて、昨年11月も会場で見ました。あんなに間近で花火を見られるのは、他ではできない体験だと思います。
市長 昨年は3年ぶりの開催で、皆さんが祭りを待ち望んでいたのを実感しました。

夢で目指したアナウンサー

市長 アナウンサーを目指したきっかけは何ですか。
梅澤 中学2年生の頃に箱根駅伝をテレビで見て、実況アナウンサーの仕事を知ったのがきっかけです。高校受験の面接でその話をしたら「実況してみて」と言われました(笑)。

市長 アナウンサーになるために苦労したことはありませんか。
梅澤 苦労はありませんでした。いま思うと、とにかく「箱根駅伝で実況したい」という一心でした。高校受験に受かったのも、アナウンサーになれたのも箱根駅伝のおかげかなと思います。選手のつらさを知るために実際にコースを歩いたり、顔を覚えられらるくらい箱根駅伝ミュージアムに通ったりしました。そこが自分の原点です。
市長 夢中になれるものを見つけたのが素晴らしいですね。初めて箱根駅伝で実況した時はどうでしたか。
梅澤 感動がたま先からソワソワと込み上げてきて、頭の上まはどぼした感覚がありました。

た。小涌園前で実況しましたが、スタートからラナー到着まで4、5時間、ドキドキしながらテレビを見て待ち、姿が見えた時は、景色がいつもより鮮やかに感じました。
市長 夢がかなった瞬間のことは忘れられないですね。私も長年の苦労を重ねた市立病院や斎場、アミーゴあつぎなどを完成させた時の感動は忘れられません。でも、市民の方から「ありがたう」の声を掛けてもらう喜びに勝るものはありません。



視聴者を一番考えて、番組を進行

伝える仕事

市長 普段はどんな仕事をしていきますか。
梅澤 スポーツ実況もあります。一番大きな仕事は、土曜早朝の情報番組の司会です。3時に出社して、5時半に私の「おはようございます」で番組が始まるので、毎週緊張しています。鮎まつりでは市長も大勢の前であいさつしていました。緊張はしませんか。
市長 私は気持ち良かったですよ(笑)。皆さんの熱が直接伝わってきて、ワクワクしました。生放送だとまた違う難しさがありますよね。番組の準備は大変ですか。
梅澤 前日の最終打ち合わせで一週間を振り返り、当日のテーマが決まります。常に世の中の出来事を追っています。
市長 毎日アンテナを張り、前日からさらに勉強が必要になるんですね。
梅澤 あまり得意ではない料理がテーマの時は、塩を「少々」と「二つまみ」の違いが何なのかピンとこなくて。分かりやすく正確に伝えるために「少々」は小豆、「二つまみ」は大豆くらいとか、勉強して表現を考えました。

市長 幅広く調べることも大事な仕事ですね。
梅澤 市長はどんな視点で仕事をしていますか。
市長 一つの問題を解決するだけでなく、市全体を考えた判断をしています。周りのことを考えることが本当の問題解決につながると思います。生放送も、常に周囲に気を配らなければいけませんよ。
梅澤 警報や緊急の速報が出ることもあるので、常に緊張感を持って臨んでいます。感染症が流行し始めた時には友人などに状況を聞き、さまざまな立場の方がどんな状況にあるかを考えながら対策を呼び掛けました。
市長 私もコロナ禍では、自身の声で伝えられるよう、動画で対策を呼び掛けました。命の安全を呼び掛けるという点では、同じ仕事と言えるかもしれません。
梅澤 相手に思いを伝える時に工夫していることはありますか。
市長 原稿を読み上げるのではなく、その場に立った時に自然



《プロフィール》1993年生まれ。2016年に日本テレビ放送網株式会社に入社。「ZIP!」「Going! Sports & News」に携わりながら、17年10月から「ヒルナンデス!」に3年半出演。現在は土曜の5時半から放送の「ズームイン!! サタデー」で総合司会を務める。



と出てきた言葉で伝えること、相手の名前をしっかりと呼ぶことを意識しています。人と人とのつながりは大切ですからね。
梅澤 生の言葉、とても大切ですよ。1年目、先輩アナウンサーに言われたことがあります。「準備はするが、そのまま読むことは絶対にしては。それは自分が作った言葉に、勝手に当てはめているだけだから。今起きていることを伝えるには、その場で自分が感じたことに限定しなければ、生の言葉ではない」。この言葉は強く胸に残っています。
市長 本場にその通りですね。人の心を打つには目の前の相手や出来事に向き合うことが大切だと、私も実感しています。

目標と地元への思い

市長 今後の目標はありますか。
梅澤 アナウンサーとしてはずっと箱根駅伝に携わり、最終的には、先頭のつばぜり合いを実況する1号車を担当したいです。それ以外だと、学校を造りたいという夢もあります。
市長 学校ですか。
梅澤 例えば、プロを目指していたスポーツ選手が、けがなどで道を閉ざされた時に次の人生を考えやすくしたい。野球選手を目指しながら弁護士にもなれる、そんな学校があったらいいなと思っています。その時は厚木市で実現したいですね。
市長 教育は、社会の役目ですから。では、一つ目の夢をかなえた梅澤さんから厚木の子どもたちにメッセージをお願いします。
梅澤 私は夢中になれることがあって、今があります。努力より、夢中になる方が強いと思います。好きなことを追求して、厚木から夢をつかんでほしいです。



当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます(1月末発送)

新春お年玉企画
直筆サイン入り色紙をプレゼント
梅澤廉さんの直筆サイン入り色紙を10人にプレゼントします。
ハガキに色紙希望の旨と〒住所、氏名、電話番号を書き、1月20日(必着)までに〒243-8511広報課☎225-2040へ。抽選。

ドローン映像を公開
あつぎ鮎まつり 大花火大会
市公式YouTubeで公開しています。普段は見られない視点の映像をお楽しみください。
あつぎ郷土博物館 ☎225-2040

山林での火災発生に備えて 川崎市と合同で火災対応訓練を実施



ヘリコプターへの給水訓練の様子

後、ヘリコプターへの給水などに取り組みました。訓練に参加した警備第二課消防小隊の鈴木亮賢さん(28)は「他市の部隊と協力し、実際にヘリコプターを使った貴重な訓練。火災が起きた時にはスムーズな活動ができるように備えたい」と力を込めていました。

空気が乾燥する季節に合わせて消防本部が12月、川崎市消防局航空隊と合同で、山林での火災発生を想定した訓練を実施しました。ヘリコプターの誘導や給水方法などを確認し、火災に備えました。

「MEDETAI！」伝統を留学生と

市指定無形民俗文化財・垣澤社中が学生向け公演

市の無形民俗文化財に指定されている相模里神楽垣澤社中が、湘北短期大学で学生向けの公演を開催しました。会場には学生や外国人留学生らおよそ30人が訪れ、伝統芸能を楽しみました。

公演では、三代目家元・垣澤勉さんの娘で代表の瑞貴さん(39・酒井)ら座組みのメンバーと留学生が七福神に扮し、舞を披露。毘沙門天を演じたアンバー・ケラハーさん(1年)は「オーストラリアにはない、きれいな服を着られてうれしい。初めて履いた足袋が不思議な感じ」と、興奮気味に話していました。垣澤社中は今年で創設110年、市の無形民俗文化財の指定を受けて50周年。3月には記念公演が開催されます。



お決まりの文句「めでたい！」を日本語で披露した



作品を通じて込めた思い

木版画家の田中里奈さんが日展会員賞を初受賞

田中さんは、2014・17年に特選を受賞し、21年から会員となって初めての受賞。作品制作の傍ら木版・水彩画の教室を開き、全国で個展も開催しています。田中さんは「インターネットが普及している昨今で、人と人のつながりを大切にしたい」と思いを込めた作品。市民の皆さんにも見ていただきたい」と話しました。

あつぎ市民交流プラザでは、寄贈された田中さんの作品を展示しています。さらに市公式YouTubeチャンネル「あつぎ文化芸術・生涯学習発信チャンネル」では、制作風景を公開中です。



受賞作品のポストカードを手に持つ田中さん

森の里在住の木版画家・田中里奈さんが、国内最大級の総合美術展「日展」で2022年度の日展会員賞を受賞しました。受賞したのは、人間関係をテーマに制作した作品「語らい」です。

カーボンニュートラルへの思いを一つに

県央相模川サミットで6市町村が共同宣言

相模川周辺の6自治体(厚木・相模原・海老名・座間市、愛川町、清川村)でつくる「県央相模川サミット」が市内で開かれ、カーボンニュートラル推進に向け共同宣言しました。

サミットは、環境・交通対策や河川の保全活用など行政が抱える広域課題の解決のため、厚木市長が会長となり2009年に発足。宣言書には、将来の世代も安心して暮らせる持続可能な社会をつくるため、6市町村が相互に協力・連携することなどが盛り込まれています。



相互の協力・連携を誓い署名した



第15回 みんなで! SDGs

SDGs(持続可能な開発目標)の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標14 海の豊かさを守ろう

ペットボトルやビニール袋などのプラスチックごみは、大量に海へ流れ出ています。海の恵みを将来にわたって利用するために、きれいな海と生き物たちを守っていきましょう。



できる取り組みは?

プラスチックごみの削減・リサイクル

マイバッグ・マイボトルを活用し、使い捨てプラスチック製品の購入頻度を減らしましょう。使用後のプラスチック製品は、汚れを落としてリサイクルしましょう。



「MSC認証」や「ASC認証」の水産物に着目する

海の環境に配慮して捕獲された水産物には「MSC認証」が、環境や地域社会に配慮した養殖業で生産された水産物には「ASC認証」が与えられます。買い物をする際に認証ラベルが付いた物を選ぶことも、海の豊かさを守ることに繋がります。

企画政策課 ☎225-2450

オミクロン株対応 ワクチン接種情報



※情報は12月20日時点

集団接種(老人福祉センター寿荘)で、若年層への優先接種・開設時間延長などを実施しています(ワクチンはファイザー社製「BA.4-5」)。希望する方は予約をお願いします。

10・20代の優先接種

《日時》1月の金・土曜 10時~19時30分

(6日は17時30分まで、21・28日を除く)

《対象》最終接種日から3カ月経過したオミクロン株対応ワクチン未接種の12~29歳

木・金・土曜の午前・夜間接種

《時間》10時~19時30分(21・28日を除く)

※12月までは12~19時

《対象》最終接種日から3カ月経過したオミクロン株対応ワクチン未接種の12歳以上

◆予約なしでも接種できます

《対象》最終接種日から3カ月経過したオミクロン株対応ワクチン未接種の12歳以上

☑接種券、本人確認書類を持ち、最終受付時間の1時間前までに、保健福祉センターへ。

市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

タウンガイド

1月

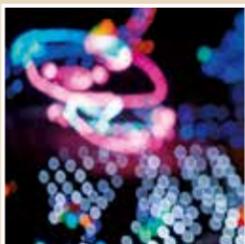
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📍=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「キラキラクリスマス」

#12月3日撮影
 #イルミネーション
 #ぼうさいの丘公園
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



第8波 感染予防の徹底を

感染の不安がある方、診療ができる医療機関の案内などは県の専用ダイヤル☎0570-056-774(24時間対応)へ。



☎健康長寿推進課☎225-2174

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

ATSUGI OUTDOOR STYLE

1月20日、13~20時。21日、10~16時。荻野運動公園。キャンプ・ハイキング用品などの展示・販売。無料。☑当日直接会場へ。☎観光振興課☎225-2820。



冬の文化財講座・文化財スタンプラリー

1月15日、10~15時(荒天中止)。愛甲熊野神社など5カ所。あつぎ観光ボランティアガイドの解説あり。無料。☑当日直接会場へ。☎文化財保護課☎225-2509。詳細は市HPに掲載。

親子で鹿角クラフト

2月23日、10~15時。七沢自然ふれあいセンター。自然観察、鹿の角を使ったストラップ作り。市内在住の家族50人。1人500円(材料費、保険料。3歳未満は保険料45円)。☑1月26日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500へ。抽選。📍

日本語講師ブラッシュアップ講座

2月7・14日(全2回)、18時30分~20時30分。あつぎ市民交流プラ

ザ。日本語を教える知識と技術を高める。ボランティアで日本語講師として活動中または活動再開予定の方30人。無料。☑直接、電話またはハガキに講座名、〒住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書き、1月20日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課☎225-2215へ。抽選。📍

果樹剪定講座

1月17日(雨天は19日)、9時30分~12時。若宮公園。ウメの剪定を学ぶ。市内在住の勤在学の方30人。無料。☑ハガキ、ファクスに〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、参加人数を書き、1月10日(必着)までに〒243-0036長谷626-1環境みどり公社☎225-2774・☎248-9502へ。抽選。☎公園緑地課☎225-2410。📍

ベビーマッサージ

1月27日、10時30分~11時30分。あつぎ市民交流プラザ。オイルを使ったマッサージで赤ちゃんとの関わり方を学ぶ。市内在住の生後1~6カ月の赤ちゃんと保護者10組(既受講者を除く)。300円(オイル代)。☑1月11~20日に子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。📍

児童館指導員を募集

《対象》子どもの健全育成に熱意がありパソコンが使える18歳以上《勤務先》市内児童館(児童館への異動あり)《内容》子どもの指導育成、施設管理など《任期》

参加者募集 ちびっこマラソン 駅伝競走大会

あつぎ 元気Wave
1/1~CATVで放送



厚木の子どもたちが健脚を競うマラソン・駅伝が、3年ぶりに開催されます。元気に楽しく走りませんか。

《日時》3月11日
9時30分~
(雨天中止)

《場所》荻野運動公園

■マラソン

1.5キロの部 = 小学5・6年生、1キロの部 = 小学3・4年生、1キロ親子の部 = 小学1・2年生と保護者。いずれも市内在住の方。

●駅伝

4区間(各1キロ程度)。市内在住の小学3~6年生6人(走者4人)と責任者1人のチーム100組。

いずれも無料。☑1月4日~2月7日にモシコムHPで申し込み。●先着順。詳細は市HPに掲載。

☎スポーツ推進課☎225-2531



4月1日~(最長1年。更新あり)《勤務》週15時間程度(10~17時のうち4時間程度、複数人の交代勤務制)《報酬》1107円(条件付きで通勤手当あり)。☑青少年課や市HPにある申込書を直接または郵送で1月23日(必着)までに〒243-8511青少年課☎225-2581へ。面接あり。

科学指導員を募集

《対象》科学の普及に熱意のある18歳以上《勤務先》神奈川県立厚木市子ども科学館《勤務内容》施設管理、科学教室指導、プラネタリウム投影など《任期》4月1日~(最長1年)《勤務時間》週1~5日(シフト制)、9時~17時15分《報酬》時給1107円(条件付きで通勤手当あり)。☑市HPにある申込書を直接、1月20日までに子ども科学館☎221-4152へ。2月3日に面接あり。

歯と歯ぐきの健康相談

1月19日、9時30分~11時30分。保健福祉センター。歯科衛生士が歯磨きや口の悩みに答える。無料。☑当日直接会場へ。参加者には歯間ブラシとデンタルフロスをプレゼント。☎健康づくり課☎225-2201。

技能功労者などを表彰

《技能功労者》中村優(理容師)小島浩(れんが積工職・タイル張工職)工藤豊人(調理師)《優秀技能者》鍛代哲也(石工職)長谷川真、熊田寛(塗装工・画工・看板工職)。順不同、敬称略。☎産業振興課☎225-2585。

広報写真コンクール市民投票

審査の参考とするため、市民投票を実施します。《期間》1月13日~2月3日《場所》あつぎ市民交流プラザ。☎広報課☎225-2040。



にぎわい美化清掃

金曜、15時~15時30分(雨天中止)。セーフティステーション番屋集合。本厚木駅周辺のごみを拾う。参加者にはまちのコイン「アユモ」を進呈。☑当日直接会場へ。☎商業にぎわい課☎225-2840。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》
 ■地域防災計画の見直し
 ☎危機管理課☎225-2190
 ■防災都市づくり計画の策定
 ☎都市計画課☎225-2400
 いずれも《閲覧期間》1月4日~2月3日《閲覧場所》各課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

ホット インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

12月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆暮らしやすい社会をつくるため、まずはできることを実践したい/70代以上男性 ◆新しい施設が市民の交流の場になることを期待する/60代男性 ◆市民に寄り添った相談窓口があるのは心強い/40代女性 ◆障害のある子ども共に学習する学校があることを初めて知った。応援したい/60代男性 ◆分けずに一つにする発想は大人の社会でも理想/40代女性 ◆駅前には交通量が多いので事故に気を付けたい/70代以上女性

編集後記

野球・ゴルフなどのスポーツ実況や情報番組など、多岐にわたって活躍する梅澤さん。初めて電話で話した時に、一言一言が聞き取りやすく、さすがアナウンサーの方だと感じました。対談で「努力は夢中になかない」と言っていました。その言葉を体現したのが、まさに梅澤さんだと思います。進路や就職などの人生の岐路に立った時、好きを追求することが選択肢の一つになればうれしいです/黒澤



車両分列行進



消防署演技



◀消防公式インスタグラムでも情報発信

日時 **1月8日**
10時～
場所 **荻野運動公園**
※当日は7時にサイレンを鳴らします。



消防団演技

消防出初め式

3年ぶりに屋外で出初め式を開催します。消防署や消防団などが迫力ある演技を披露します。

☎警防課 ☎223-9368



一斉放水



古式消防保存会演技

はたちのつどい

テーマ **ひろく 可能性は無限大!**

2023年、市内では2320人が20歳の節目を迎えます。皆さんの輝く未来を祝い「はたちのつどい」を開催します。

☎青少年課 ☎225-2580

日にち **1月9日**

場所 **文化会館** ※中学校区ごとに3部制で実施

対象者には学区ごとの時間やオンライン配信のURLなどを通知。詳細は市HPに掲載。



【感染対策】当日は席の間隔を空けマスク着用

自然歳時記

●ヤブコウジ●
サクランソウ科

千両万両アリドウシ(一両)といい、正月の縁起の良い樹木の代表。木陰に生える小さなヤブコウジは十両で、これも縁起が良い。白い花は夏に咲き秋に赤い実になる／飯山白山森林公園で見つけた。写真・文／吉田文雄



林道を歩くと、脇に赤いフユイチゴの実がよく目立つ。とげに注意し一粒口に含むと、甘酸っぱい味がして疲れが和らいだ。軽くなった足で坂道を進むと、ヤブコウジの実が見えた。藪柑子と書き、やぶに生えるこうじ(甘い果実やミカンを指す)に由来する。高さ10~30センチと小

さくあまり目立たない常緑小低木。地下茎は長く伸び、辺り一面に繁殖するが、林縁の草刈りなどで最近は見かけなくなった。光沢のある葉は、先がとがり縁に鋸歯が目立つ。5~8センチの白い花は夏に咲き、秋に花と同じような大きさの赤い実となり、冬もよく目立ち美しい。

厚木市の人口 (12月1日現在)	世帯数 10万3518世帯 (前月比36世帯増)	人口 22万4036人 (前月比13人減) 男11万5323人・女10万8713人
---------------------	--------------------------	---